

INTERVIEW

～1年生職員インタビュー～



令和7年度入局の1年生職員から話を聞いてみました。

■入局を決めた理由は何ですか？

北川：国家公務員として政策に携わり、社会課題の根本的な解決に貢献したいという思いに加え、私自身地方出身であることから、地域と関わる仕事をしたいという希望もありました。そのため、国と地域をつなぐ役割を担う財務局総合職を志望しました。また、キャリアパスにおいて、財務省本省と財務局の両方で勤務ができる点も魅力に感じました。地域の実情に即した知見を身につけながら、財務省本省・金融庁で政策立案等に携われることは、財務局総合職ならではの強

みであると感じ、入局を決めた理由の一つとなりました。

藤川：職業選択に当たり、これまでの生活の中で受けてきた多くの恩恵を社会に還元したいという思いから、多くの人々の生活に貢献できる国家公務員を志望しました。その中でも、財務局総合職は本省・地方・海外と多様なフィールドで働くことができ、多様な角度から国民生活に貢献できることに魅力を感じました。また、官庁訪問で面接を担当していただいた職員の方々の温かい人柄に触れたことも、入局を決めた大きな決め手となりました。

■現在の業務内容や職場の雰囲気について教えてください。

高橋：主計局調整係では、複数の省庁にまたがる予算の取りまとめを担当しています。東日本大震災復興予算、災害予算、国土強靱化予算をはじめ幅広い分野を扱っているため、意欲次第では様々な業務を経験し、学ぶチャンスがあります。合計9名の小さな課室ですが、その分コミュニケーションが活発であり、分からないことは上司・先輩が丁寧に教えてくださるので、安心して業務に取り組める職場だと感じています。

村本：私が現在所属している大臣官房政策金融課は、政府系金融機関と連携して政策金融の実施にあたる部署です。政策金融とは、民間金融機関だけでは対応が難しい分野に対して、金融的手法によって政策目的を達成するものであり、1年目から金融の世界の一端を担うことができる点に、非常にやりがいを感じています。雰囲気もよく、係を越えたコミュニケーションが活発な部署でもあります。省外のカウンターパートも多く、常に刺激を受けながら業務に取り組んでいます。

林：国際局為替市場課は、為替相場の安定を使命とし、日々変動する為替相場の動向を分析・モニタリングしています。私の部署は、

フレックス制度やテレワークを活用している職員が多く、柔軟な働き方が可能です。私自身もフレックス制度を利用し、プライベートの予定等に合わせて働いています。また、国会対応などの大変な業務もありますが、当番制を導入しており、ときどき対応が必要な場面はあるものの、毎日のように深夜まで待機するといったことはなく、働きやすい環境が整っています。

■これまでの仕事で印象に残っていること、やりがいを感じたこと、また、苦労したことがあれば教えてください。

坂口：現在所属する国際局国際機構課は、首脳や大臣級から事務方まで、大小様々な国際会議の場や国際機関との連携を所管しており、国際金融の場における議論形成を間近に見ることができる部署の一つです。国内外の政治的・経済的情勢の変化や新しい知識に追いつくために大変なことも多いですが、中長期的な視点で日本が世界に貢献するための議論の一端に関わっていることは、やりがいに繋がっています。

山口：主計局法規課は、国の財政や会計に関する法律を所管しており、法案の企画・立案や、照会の対応などを行っています。法律

成立時や改正時にあった議論や検討の経緯を調査し、現在の法制度とリンクさせていながらの仕事は、大変勉強になることが多く、面白く感じています。また1年生ながら、法規課が所管する制度について紹介するガイドブックを中心となって作成しています。完成までの調整作業などには非常に多くの苦労がありますが、形となって世の中に公表され、国として多くの方に情報をお届けできた実感は、国家公務員ならではの思いです。

西田：理財局国庫課では、国庫金の管理・運用や通貨制度の企画・立案等を行っています。これまでの業務で特に印象に残っていることは、造幣局で製造している硬貨の重量が適切であるかをテストする「製造貨幣大試験」に立会人として参加したことです。普段は霞が関でのデスクワークが中心であるなか、通貨に対する信頼を維持する現場に立ち会えたことは、大変意義深い経験であったと考えています。

■あなたが目指す職員像について教えてください。

高松：私の所属する国際機構課資金移転対策室では、国際基準に合致させるため、ひいては国や地域経済の発展のために、財務局

で実施している施策に関する情報を扱うこともあり、本省及び国際的な分野と財務局とのつながりを強く感じています。そのため、将来は本省と財務局、チャンスがあれば海外での勤務を経験し、国と地方の視点をベースに国際的な視点も交え、幅広い観点から実効性のある政策を立案・執行できる職員を目指したいと考えています。

■最後に、これから国家公務員、財務局総合職を目指す学生の方へのメッセージをお願いします。

田川：財務局総合職に興味を持ってくださりありがとうございます！就職活動には無数の選択肢がある中で悩むことも多々あるかと思いますが、自分自身を見つめ直すいい機会ですので、たくさん悩んで、たくさん考えてください。そのうえで、私たちと同じ志を持って国家公務員・財務局総合職を目指していただけたら、嬉しい限りです。皆様とともに働ける日を楽しみにしています！

